

事業番号0260											
平成29年度行政事業レビューシート（厚生労働省）											
事業名	国民健康保険の財政対策に必要な経費				担当部局庁	保険局			作成責任者		
事業開始年度	平成20年度	事業終了 （予定）年度	終了予定なし		担当課室	国民健康保険課			鳥井 陽一		
会計区分	一般会計										
根拠法令 （具体的な 条項も記載）	—				関係する計画、 通知等	—					
主要政策・施策	高齢社会対策				主要経費	社会保障					
事業の目的 （目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	補助金等執行事務の効率化を図り、国民健康保険保険者への各種補助金等の適正かつ効率的な執行を確保のうえ、国民健康保険事業の健全な運営を確保し、もって社会保障及び国民保健の向上に寄与することを目的とする。										
事業概要 （5行程度以内。別添可）	① 各種補助金等の適正かつ効率的な交付決定を行うための「国保データベースシステム」にかかるシステム改修 ② 国民健康保険事業運営安定化基準超過費用額共同負担金算出（平成24年度まで） ③ 国民健康保険安定化計画の指定市町村地域差指数等算出 ④ 国民健康保険基準給付基礎調査票入力集計 ⑤ 国民健康保険組合の所得状況等報告（5年毎）										
実施方法	委託・請負										
予算額・執行額 （単位：百万円）			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求				
	予算 の 状 況	当初予算	18	11	12	11	21				
		補正予算	－	－	－	－					
		前年度から繰越し	－	－	－	－					
		翌年度へ繰越し	－	－	－	－					
		予備費等	－	－	－	－					
	計		18	11	12	11	21				
	執行額		17	4	6						
	執行率（％）		94%	36%	50%						
	当初予算＋補正予算に対する執行額の割合（％）		94%	36%	50%						
平成29・30年度 予算内訳 （単位：百万円）	歳出予算目		29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由						
	医療給付適正化業務庁費		11	21	制度改革に伴うシステム改修費用増のため						
	計		11	21							
成果目標及び 成果実績 （アウトカム）	定量的な成果目標		成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 － 年度	目標最終年度 29 年度	
	調整交付金の交付対象とした保険者数		成果実績	保険者数	1,717	1,716	1,716	－	－		
			目標値	保険者数	1,717	1,716	1,716	－	1,716		
			達成度	％	100	100	100	－	－		
根拠として用いた統計・データ名 （出典）	国保保険者数（平成29年4月1日時点）										
活動指標及び 活動実績 （アウトプット）	活動指標				単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	国保データベースシステムに係るシステム機能の改修等（本システム機能を活用したデータ処理を含む。）の実施回数			活動実績	実施回数	4	4	4	－		
				当初見込み	実施回数	4	4	4	4		
単位当たり コスト	算出根拠				単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	システム改修予算額／調整交付金の交付対象保険者数			単位当たり コスト	円	10,483	6,407	7,139	6,267		
				計算式	改修見込み額/交付対象保険者数	改修見込み額/交付対象保険者数	改修見込み額/交付対象保険者数	改修見込み額/交付対象保険者数	改修見込み額/交付対象保険者数		

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係

政策評価	政策	基本目標Ⅰ：安心・信頼してかけられる医療の確保と国民の健康づくりを推進すること 施策大目標9：全国民に必要な医療を保障できる安定的・効率的な医療保険制度を構築すること									
	施策	データヘルスの推進による保険者機能の強化等により適切かつ安定的・効率的な医療保険制度を構築すること（Ⅰ-9-1）									
	測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 －年度	目標年度 －年度		
		－	実績値	－	－	－	－	－	－		
			目標値	－	－	－	－	－	－		
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
	① 各種補助金等の適正かつ効率的な交付決定を行うための「国保データベースシステム」にかかるシステム改修 ② 国民健康保険事業運営安定化基準超過費用額共同負担金算出（平成24年度まで） ③ 国民健康保険安定化計画の指定市町村地域差指数等算出 ④ 国民健康保険基準給付基礎調査票入力集計 ⑤ 国民健康保険組合の所得状況等報告（5年毎） 補助金等執行業務の効率化を図り、国民健康保険保険者への各種補助金等の適正かつ効率的な執行を確保すること等を通じて医療保険の適正かつ安定的な運営に寄与している。										
	改革項目	分野：	－	－							
	（第一階層） KPI	KPI （第一階層）		単位	計画開始時 －年度	28年度	29年度	中間目標 －年度	目標最終年度 －年度		
		－	成果実績	－	－	－	－	－	－		
目標値			－	－	－	－	－	－			
達成度			%	－	－	－	－	－			
（第二階層） KPI		KPI （第二階層）		単位	計画開始時 －年度	28年度	29年度	中間目標 －年度	目標最終年度 －年度		
		－	成果実績	－	－	－	－	－	－		
			目標値	－	－	－	－	－	－		
			達成度	%	－	－	－	－	－		
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係											
－											

事業所管部局による点検・改善				
	項 目		評 価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	補助金等執行を適正・効率的に実施するための本事業は、広く国民のニーズがあり、国が国費を投入のうえ実施する事業であり、地方自治体・民間等に委ねることができない。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	補助金等執行を適正・効率的に実施するための本事業は、広く国民のニーズがあり、国が国費を投入のうえ実施する事業であり、地方自治体・民間等に委ねることができない。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	各種補助金等の適正かつ効率的な執行を確保するという政策目的の達成に向けて、優先度が高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	契約に関する規定に基づき、一般競争入札により選定しており、妥当である。 一者応札となったものについては、事前のWBS審査において、計画書等に不備があるとして不合格になった業者が多かったことが原因であるが、今後は、調達説明会などにおいて、より丁寧な説明をするよう改善したい。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		有	
	競争性のない随意契約となったものはないか。		無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	各種補助金等の適正かつ効率的な執行に必要な経費に限定しており、コストの削減に努めている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	費目・使途については、真に必要なものに限定して予算計上をしている。
	不用率が大い場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	一般競争入札による調達の結果、効率的な調達ができただめ。
	繰越額が大い場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		○	各種補助金等の適正かつ効率的な執行に結びつくシステムの改修等に限定している。
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	補助金等執行業務が適正・効率的に実施されている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	概ね予定どおりシステム改修等の事業を実施することができた。
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	適正・効率的な補助金執行等に活用されている。
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-
	所管府省名	事業番号	事業名	
点検・改善結果	点検結果	本事業や関連する事業が着実に実施されることにより、補助金の執行等が適正に実施でき、ひいては国民健康保険事業の安定運営を図ることができた。		
	改善の方向性	補助金等執行を適正・効率的に実施し、国民健康保険制度の安定に資するための本事業は、広く国民のニーズがあることから、今後も国が必要な予算を確保し、着実に実施していく必要がある。来年度以降も、これまでと変わらぬ着実・効率的な執行を行うことが求められている。		

外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
一部改善	事業内容	一者応札となっている要因を分析し、改善を図ること。 入札結果の影響もあるが、これまでの執行率を踏まえ、予算額を縮減すること。			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
執行等改善		執行額については、一般競争入札により安く抑えられているものであるが、予算見込み額について、今後、検討したい。			
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	268	平成23年度	239	平成24年度	205
平成25年度	238	平成26年度	250	平成27年度	260
平成28年度	255				
資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位：百万円)	※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。				
	厚生労働省 6.0百万円 (各種補助金等の交付決定にかかるシステム改修等の管理・調整) ↓ 【一般競争契約(最低価格)】【一般競争契約(最低価格)】【随意契約(少額)】 A (株)ジャパン・コンピュータ・テクノロジー B システム・アナライズ(株) 3.1百万円 C 特定非営利活動法人さらプロ (各種補助金等の交付決定にかかるシステム改修経費(療養給付費等負担金)) (各種補助金等の交付決定にかかるシステム改修経費(調整交付金)) (国民健康保険組合の所得状況等報告(データ入力、集計業務))				

費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載)	A.株ジャパン・コンピュータ・テクノロジー			B.システム・アナライズ(株)		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	役務費	各種補助金等の交付決定にかかるシステム改修	2.1	役務費	各種補助金等の交付決定にかかるシステム改修	3.1
	計		2.1	計		3.1
	C.特定非営利活動法人さらプロジェクト			D.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	役務費	国民健康保険組合被保険者に係る市町村税の課税標準額入力集計業務	0.8			
	計		0.8	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社ジャパン・コンピュータ・テクノロジー	1010401092989	各種補助金等にかかるシステム改修経費	2.1	一般競争契約 (最低価格)	1	65%	-

B

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	システム・アナライズ株式会社	3010001019663	各種補助金等にかかるシステム改修経費	3.1	一般競争契約 (最低価格)	3	65%	-

C

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	特定非営利活動法人さらプロジェクト	3011305000565	国民健康保険組合被保険者に係る市町村税の課税標準額入力集計業務委託経費	0.8	随意契約 (少額)	-	100%	-

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契 約 先	法 人 番 号	業 務 概 要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		-	-	-	-		-	-	-